



## 【 「進んで挨拶をする子供」の育成に向けて 】

- 「挨拶」は、人間関係を向上させるための手段です。その「挨拶」を、井波小の子供たちが進んで行うよう取組を行っています。個人差があり、全体的としては課題もありますが、少しずつよくなってきていると思っています。
- 例えば、学級や各担任で次のような取組をしています。

- ・学級全員に挨拶をすることにしている。特に会った先生には必ず挨拶をするよう伝えている。
- ・個々に合わせて、2学期の挨拶の目当てを決め、毎日振り返りをしている。
- ・「挨拶」をジャンケンに例えて、「後出しジャンケン」にならないように、「自分から」をキーワードにしている。
- ・教室に来たら挨拶をする、聞こえた人はそれを返すというルールを決めて続けている。それができたら、「聞こえる声で挨拶を返す → 大きな声で挨拶を返す」など、少しずつレベルを上げながら取り組み、帰りの会で毎日振り返りをしている。
- ・廊下をすれ違う子供に、「こんにちは。」の挨拶をしている。
- ・「挨拶のキャッチボール」は自分から投げるように、クラスで意識している。
- ・日々の指導やSST（ソーシャル・スキル・トレーニング）を取り入れた活動を継続的に行っている。
- ・登校後、当番制で、校内を挨拶して回っている。

- 「挨拶」の向上は、簡単にできるものではありません。**良好な人間関係、充実した日々、自己肯定感の向上、相手の気持ちを推測する力等、多くの要素があります。一日の最初の挨拶は、家庭で子供と「おはよう」を交わすことをお願いいたします。**



登校



稲刈り（5年）